

スイカを食べて元気になって。仙台市中央卸売市場の宮果（遠藤哲夫社長、若林区）と青果會種研究会（会長 宮本修・東京青果専務）は先月、同市若林区内2か所の仮設住宅の入居者にスイカを差し入れた。

宮果と青果會種研究会

用意したのはスイカを専門に育種する

スイカで元気になれ

仮設住宅に差し入れ

奈良県の種苗会社5社で、1社10万（1ヤ、2玉）ずつ、合計50万を揃え、東京青果が宮果に送った。1か所目となる若林日辺グラウンド（150世帯）での開始に当た

整備事業小学校用地（180世帯）とともに、家族で楽しめるよう4分の1カットを配布。小学6年生の男児は（震災以前から）家族でスイカを食べる機会が少なかったため嬉しうと笑顔を見せた。

差し入れは、青果會種研究会の会員である東京都および神奈川県



り、遠藤社長は「みなさんのお陰で当市場は今年50周年を迎えた。（差し入れは）その恩返し」と挨拶。自ら試食用のスイカを切り分けて手渡しと、待ちかねていた入居者から「甘い」「おいしい」などと歓声があがった。

6社と種苗会社5社の発表による。「夏本番を迎え、スイカのおいしい時期となった。スイカを家族で分けて食べて欲しい、子供たちに喜んで欲しいという会員の思いから、差し入れを同じく会員である宮果にお願いした」と事務局。

2か所目の荒井土地区画

スイカを提供したのは萩原農場、大和農園、ナント種苗、神田青種農場、松井農園。協賛は東京シティ青

子供にはスイカ割りも。
左が遠藤社長

果、東京新宿ベジフル、東京青果、東京千住青果、東京豊島青果、横浜丸中青果。